

当たり前の「大切さ」に感謝

人類は約1万年の昔から、さまざまな感染症と戦つてきました。原因も治療法も確立されていなかつた時代には、感染症のパンデミック(世界的大流行)は、歴史を変えるほどの影響を及ぼしてきました。

国内で新型コロナウイルス感染防止の緊急事態宣言が出されておよそ3週間、また問題が発生しています。今回は、東京で起きたエピソードから考えます。

家庭のゴミを持っていってくださる皆様へ

コロナが流行っている中、毎月、週2回も持って行ってくださいありがとうございます!!

コロナにまけないように一緒に頑張りましょう。今後とも宜しくお願ひいたします。

ごみ収集の皆様へ

ゴミ収集の皆様へ

家庭のゴミを持っていってくださる皆様へ

コロナが流行っている中、毎月、週2回も持って行ってくださいありがとうございます!!

コロナにまけないように一緒に頑張りましょう。今後とも宜しくお願ひいたします。

ごみ収集の皆様へ

ゴミ収集の皆様へ

家庭のゴミを持っていってくださる皆様へ

コロナが流行っている中、毎月、週2回も持って行ってくださいありがとうございます!!

コロナにまけないように一緒に頑張りましょう。今後とも宜しくお願ひいたします。

ごみ収集の皆様へ

ゴミ収集の皆様へ

家庭のゴミを持っていってくださる皆様へ

コロナが流行っている中、毎月、週2回も持って行ってくださいありがとうございます!!

コロナにまけないように一緒に頑張りましょう。今後とも宜しくお願ひいたします。

ごみ収集の皆様へ

ゴみ袋に、2通りの手紙が貼り付けていました。

そんな中、先月22日(水)、東京・荒川区で収集されたゴミ袋に、2通りの手紙が貼り付けていました。

御苦労様です。私達は何時も感謝の毎日です。コロナウイルスの感染が広がりお身体には十分お気を付けてください。

これがもつていてる差別や偏見が感染症によつて表面化する

くうれしかつた」と語つてい

たそうです。

在宅勤務が広がっています

が、実際に動かないといけない仕事があるのも事実。その中で、医療従事者やその家族、運送業、スーパーなどの小売業で働く人たちに対しても、心ない差別が報告されています。この状況下でも最善を尽

くし、市民生活を支えている人々がいることを忘れてはなりません。

当たり前だったことが当たり前でなくなつて、現状。だからこそ、当たり前の「大切さ」をもう一度考えてみましょう。そして差別ではなく、2通りの手紙のように、感謝の気持ちを広げたいものです。

(ニッポン放送「日曜のへそ」)

4月26日放送分他より構成)

2通の手紙の文面(原文ママ)。直筆でした。



このコーナーは返信欄に寄せられた「声」を紹介します。

○ 昨年5月に延岡に来たのでよく分かりませんが、少しでも学校が良くなり、生徒さん達が気持ちよく勉強ができれば良いと思います。(P.N. Nchanさん)

前号の『自己を見つめる』アンケートの結果から返信をいただきました。ありがとうございます。今の自分のための行動を前向きに考え、取り組んでいけば、その行動は何倍にもなって、自分に恩返ししてくれると信じています。現在、生徒は4月分のアンケートを進めているところです。皆さんにとって、4月はどんな月でしたか?

このコーナーは、人権について考え続ける場にしたいと考えています。ご感想、お待ちしています。

【ご家庭から】ご感想をお待ちしております。学級担任にお渡しください。

2020年度第2号

年 組/お名前

(ペンネームもO.K.です)

◆書いていただいた内容をこの通信で紹介してもよろしいですか? (○ · ×)